

を得た。解散に向けての準備を開始。

＊ヨゼフ会

ヨゼフ会は解散する予定はない。教会運営に直接参画しないが、あくまで親睦団体として、信仰を中心とした「語り合う場」として継続する方向。

＊営繕

アスベストの件で、公的機関経由で検査依頼中。(⇒後刻、安全の旨報告があった)

ヨゼフ会だより

< 10月16日(日) 13名出席 >



■バザー準備:

✦ 10/29の準備、及び当日のヨゼフ会担当売り場への協力お願い。

✦ 各責任者は、ヨゼフ会関連全体(鶴田、花坂)、やきそば(下村)、やきとり(上野)、やきいか(宮崎)、飲み物(萩原)の各氏。

■「庭の手入れ」関連:

✦ まだ高い木の剪定が残っていたが、古田さんにやって頂いた。ありがとうございました。

✦ 来年度以降は、中途半端にならないよう入念に計画して進める。

■秋のハイキング計画:

✦ 11月19日(土)に城ヶ島に行くことに決定。(概ね2時間コース)。別途内容掲示する。

■10月～12月の当番表の確認:

✦ 10/23サロンのチーフは上野さんに担当して頂けることとなった。

✦ 先唱変更: 10/23⇒東原さん、10/30⇒小野寺さん

■2006年以降のヨゼフ会の存続・運営について:

✦ 多くの活発なご意見を頂いた。結論として、『ヨゼフ会は、自由な議論が出来る“親睦会”として存続する』ことに決定した。

✦ 教会運営自体は、既に教会委員会を中心とした各運営グループに一元化されており、ヨゼフ会は教会運営に直接参画しないが、親睦団体としてその「下支え」をすることで貢献していく。

✦ 議論の過程で出たご意見のいくつかを紹介します。

◆ 教区全体の動きも、組織運営の「簡素化」に向かっている。教会運営も各運営グループに一元化して、ヨゼフ会は親睦団体としてその下支えをすることはこの流れに合う。

◆ とかく意見も求められると、“批判”一対立に偏りがち。自由闊達で建設的な意見交流の場の維持、醸成は重要。

◆ 話合いや交流の場が無くなってしまおうと、教会は個人単位の活動の場ではなくなってしまおう。教会の本来の目標に全くそぐわないことであり、話合いの場を堅持することは重要。

◆ 他教会の「集会祭儀」を円滑に運営している例もある。良い事例にも学びながら、今後の中和田協会の運営改善に協力していこう。とくに、「繋がりを大切にすること」が重要。

◆ 今後、教会の“掃除”をどうまわしていくか、など課題も多い。ヨゼフ会も課題克服に貢献していこう。

■連絡事項:

✦ 五十嵐さんが、汲沢の生協戸塚病院に入院されている。

✦ ヨゼフ会、マリア会の連絡網一元化の動き。

マリア会だより

< 10月16日(日) 38名出席 >

1. マリア会関係

- ◆ D地区一法師弥生様(聖母の園へ)、C地区吉田ちかえ様退会
- ◆ 竹内洋子様退院されました
- ◆ 藤沢教会聖体訪問と食事会(鈴木神父様との懇親を兼ねて)

11月24日(木)場所、会費等未定、詳細は掲示板藤沢教会献金については了承を得た。

◆マリア会の今後を考える会

地区別話し合いに延べ35名の方が参加されました。その結果9割の方がマリア会をなくしてもよいのご意見でした。その他に15名の方にお電話や口答でお聞きしましたがほぼ同意見でしたので、来月、臨時総会を開き正式に討議して決定したいと言うことで意見がまとまりました。

尚、一般会計、特別会計の残金については正式に決定した後には討議したいと思います。

2. 行事より

- ◆ バザー当日お手伝い表に記入して下さい。前日お手伝いは午後1時から
- ◆ 値段付け ご協力有り難うございました。
- ◆ ケーキ作り: 10/24(月) 試し焼き9時～1時、10/27(木) 本焼き1時～5時、
- ◆ 調味料等のご寄付をお願いしたい

3. 阿部さんより(パスカ関連)

- ◆ バザーで鯉の販売とアクセサリ-の販売をしますので、アクセサリ-のご寄付をお願いします。
- ◆ バス遠足があります。11/17(木) 本郷教会、ニコライ堂(詳細・申込は掲示板)

4. 上野さんより 11/3 ふれあいコンサートのお誘い

5. 石川さんより 来年度より第五地区福音宣教委員会は教会委員長が出席されますので、委員のお役を終らせて頂きます。(お疲れ様でした。)

【次回例会は臨時総会 11月20日(日) 当番はC地区】



広報 なかわだ 第317号

11月の予定

死者のためのミサ	11月 6日
委員会、七五三お祝い	11月 13日
初聖体、ヨゼフ会・マリア会	11月 20日



2005年 11月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

平成17年11月6日



最近みた映画から思いめぐらしたことごと

渡邊 裕成 神父



先日、マザー・テレサの映画を観てきました。横浜でやっていたときには、一緒に観に行こうと誘われても、時間が合わずに行けなかったのが、今度は藤沢の映画館でやると知って観に行きました。映画を観て、実物を十分に描けていないという印象を持ちましたが、映画はそれはそれで、それなりに良かったと思います。観た人の多くが、感動したようでした。私も映画を観て、マザー・テレサのいろいろのことを思い出すきっかけとなりました。

私は、マザー・テレサには、カルカッタの修道院で、幾度かお目にかかったことがあります。信徒宣教者として、ネパールに2年半いたとき、ツーリスト・ビザしかもらえなかったのが、3ヶ月ごとにネパールの国外に出なくてはならず、よくインドに出ては、カルカッタの修道院に寄っていました。共に祈り、ミサに与り、いろんなところから来ているボランティアの人たちの仲間に入れてもらっていました。祈りのときに、そこにマザー・テレサがいて、祈りが深められ、神の現存の内へと引き寄せられていくのを感じました。また、貧しい人々の中の、最も貧しい人の内にいるキリストに仕えようとする人々の姿から強いインパクトを受けたのを思い出します。

確か、マザー・テレサのテレサは、小さいテレジアからとったのだと思いますが、何年前か、小さいテレジアが教会から、教会博士の称号を与えられたときには、不思議な思いがしました。小さいテレジアはその生涯の中で、神学研究などということをしたわけではないのですが、小さきもの内にこそキリストが現存するという福音の神秘を、現代において教会に再び思い起こさせたということで、この称号が与えられたと記憶しています。マザー・テレサは、その福音の神秘を現代に生きるすべての人々に示した、生きた徴だったと思います。

何年前か、確かマザー・テレサが帰天して1年たったころのことだったと思いますが、一般の書店に行って、本を買い求めたところ、マザー・テレサの写真と言葉のあるしおりを渡され、不思議な思いになったことを思い出します。そこには、こんなことが書かれてありました。

「大切なのは、どれだけたくさんのごことや偉大なことをしたかではなく、どれだけ心をこめたかです。」(マザー・テレサ)

確かに、マザー・テレサは、この言葉どおりに生きた方でした。混沌とする現代社会にあって、自分の無力を突きつけられるとき、こんなマザー・テレサの生き方から多くのことを学び、勇気づけられます。

マザー・テレサの映画を上映していた同じ映画館で「ヒットラー最後の12日間」という映画も上映されていました。こういうのを今やってると、ひとから聞いていて、どこでやっているのかと探していたところだったので、後日また、その映画館に観にゆきました。ヒットラーの秘書の中のひとりの女性の目から見た、ヒットラーとナチス・ドイツの最後でした。映画の中で、ベルリンが陥落し、多くの市民が犠牲となっていく中、「それは、かれらの自業自得だ。われわれに委ねたのはかれらだからな。」

という、ヒットラーと彼に心酔するナチス党員の言葉が心に残りました。

同じ映画館で、マザー・テレサとヒットラーを観て、ふと、誰だったか、こんなことを言っていたのを思い出しました。ヒットラーもマザー・テレサも同時代のヨーロッパが生み出した人物。同時代の同じヨーロッパがこれほど違う人物を生み出す不思議。

お知らせ

① 行事関係

11月 6日(日) 死者のための追悼(主日ミサの中で)

13日(日) 七五三のお祝い

20日(日) 初聖体



12月10日(土) 午後2時から 待降節の黙想会・赦しの秘跡

② 泉区民クリスマス

有志の方が聖歌隊のメンバーとして参加しています。どうぞお出かけください。

12月23日(金) 午後2時～4時

泉公会堂にて

終了後、いずみ中央駅前

にてキャロリング



マリッジ・エンカウンターセミナーに参加して



内藤 和子

頭では理解していたつもり「結婚の神秘」を心で盛じることができた経験を書きたいと思います。

最近、「熟年離婚」という言葉をよく耳にします。そんな時、神様がお望みになる人間に成るにはどうしたらよいのだろう。せっかく縁あって一緒になったのだから仲良く一生を添い遂げる。それが神様のお望みだし、ほとんどの人も、そう在りたいと願っています。でも、現実はとても難しい！！

少し勇気が必要でしたがマリッジ・エンカウンターに二人で参加しました。不安もありました。

カウンセリングだと思っていたら、より良い夫婦の関わりを保つための対話を学ぶ場所でした。正直に、素直に、自分の感情を表し、二人だけでお互い今までの結婚生活、これからの結婚生活について考える、初めての経験でした。対話をする事になれていない私達でしたが、神父様、マリッジ・エンカウンターボランティア、数組のご夫婦のもと二泊三日のセミナーを通して、少しお互いが成長したように見えて不思議な感じがして、心で「結婚の神秘」を感じ、無事終わる事ができました。そして私達夫婦も希望をもつことができました。

セミナーの最後に神父様が参加者全員のために結婚式をしてくださいました。三十年前の商業ベースの結婚式とは違い、心から神の存在を信じ、お恵みのなかに居る事を感じ、ただ、ただ、感謝でした。



ミサ当番表 (2005年11～12月)

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉納	オルガン	侍者	先唱者	準備係
11/6					美底			井上・大原
11/13	小野	石井(祥)	小野	小野・清水	岩渕		森脇(信)	大宮・松尾(シ)
11/20	森脇(信)	岩崎	阿部(映)	森脇(信)・七浦	森田	石井(カ)美底(紗)石原(知)	大宮	下村・松下
11/27	上野	花坂	上野	上野・町田	岩渕		萩原	井上・大原
12/4					美底			大宮・松尾(シ)
12/11	小谷	阿部(映)	小谷	竹内・中村(幸)	森田		清水	下村・松下
12/18	鶴田	阿部(幸)	岩崎	鶴田・横塚	岩渕		竹内	中谷・青柳
12/25	清水	上野	清水	清水・位田	森田		小野寺	井上・大原

2005年9月18日、「敬老の祝福」のごミサが捧げられました

渡邊裕成神父様の司式により、9月18日に「敬老の祝福」のごミサが捧げられました。中和田教会では、75歳以上の方々を対象としてしてお祝いをしています。本年度は4名の方々が新しく加わりました。前主任司祭の山崎神父様もご出席になり、ごミサに引き続いて楽しい歓談のひと時を持ちました。



委員会だより

< 10月9日(日) 11名出席 >

■ 行事計画：

- * 10月30日(日) バザー開催
- * 11月13日(日) 七五三のお祝い
- * 11月20日(日・王であるキリスト) 初聖体(予定)
- * 11月は「死者の月」：
 - ◆ 共同体として祈ることに主眼を置き、11月6日の主日ミサに追悼を織り込む。従来は初金に行っていたが、これは、やめる。
 - ◆ 名前を読み上げるのは今年亡くなられた信徒の方々だけに留める。
 - ◆ 従来のような「ミサ依頼」の表は中止し、個人的に神父様をお願いして頂くこととする。

■ 行事報告：

敬老のお祝い(9/18)は無事終了。記念写真も配布済み。

■ 2006年度中和田教会信徒総会について

- ◆ 信徒総会は1月22日(日)ミサ後に開催する。
- ◆ 教会委員の改選
次年度は数名の委員の交替をする。今まで、立候補者が出たためしがなく、選出委員会(主任司祭、ヨゼフ会会長、マリア会会長)による選任も無理がある。定着してきた各運営グループ活動の中で、次の委員を推薦する形を定着させていきたい。

■ 各委員より：

- * 財務
 - ◆ 来年度予算申請：各委員は10月中に来年度の予算の請求を提出する。
 - ◆ 10月中に香部屋のたな卸しを行う
 - ◆ 銀行入金業務は山田さんにお願ひし、活動開始された。
- * 行事
 - ◆ バザーに向けての準備は順調に進んでいる。
- * 広報
 - ◆ カトリック新聞を教会で購入することを中止する。(あまり利用されていない)
- * 典礼
 - ◆ 9/25に開催された典礼委員会の報告
- * 布教(下記教区活動の報告)
 - ◆ 宣教司牧評議会
 - ◆ 第5地区福音宣教委員会
- * 要理
 - ◆ お母さんたちの分かち合いの場を設ける。
 - ◆ バザーでは、子どものために輪投げ、ヨーヨーなどお遊びを準備している。
 - ◆ クリスマスに聖劇をする：脚本が出来練習を始めた。
 - ◆ 今年もザビエル祭(11/23)に行く予定。
 - ◆ 11/6 藤沢教会・中和田教会合同での「青少年の集い」が当教会で予定されている。
- * マリア会
 - ◆ マリア会は解散する方向で出席者の90%の方の賛意